

ウォータリングタイマー取扱説明書

この度はウォータリングタイマーをご購入頂き、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。

また、本書並びに保証書は、紛失しないよう大切に保管しておいて下さい。

万一、故障又は不具合、ご不明な点等ございましたら、販売店または下記までお問い合わせ下さい。

—目次—

1, ウォータリングタイマーについて	P 2
2, 部品名称	P 2
3, 液晶ディスプレイ	P 3
4, 電池の入れ方	P 3
5, コントロールボタン	P 4
6, プログラミング	P 4
①現在の日付と時刻の設定	P 4
②散水日の設定	P 5
ア：曜日指定	P 5
イ：偶数日もしくは奇数日指定	P 6
ウ：日にち（1～30日毎）の間隔指定	P 6
③散水スタート時刻の設定	P 6
④散水時間の設定	P 7
⑤一定期間散水OFFアイコン	P 8
7, 手動散水	P 9
8, 電源OFF	P 9
9, AM/PM12時間表示・24時間表示の選択	P 9
10, T-006ウォータリングタイマー用レインセンサー	P 10
11, 注意事項	P 11
12, よくあるQ&A	P 12



株式会社ワールドガレージドア

散水システム事業部

山口県山口市下小鯖405-1

TEL 083-941-0218

FAX 083-927-2414

e-mail wg@wg.d.co.jp

1, ウォータリングタイマーについて

ウォータリングタイマーは防水電池式タイマーで、単3形アルカリ乾電池2本を使用します。色々なプログラムの設定ができ、曜日指定の設定や、奇数日・偶数日指定の設定、循環モード設定では1日1回～30日毎1回の設定ができます。

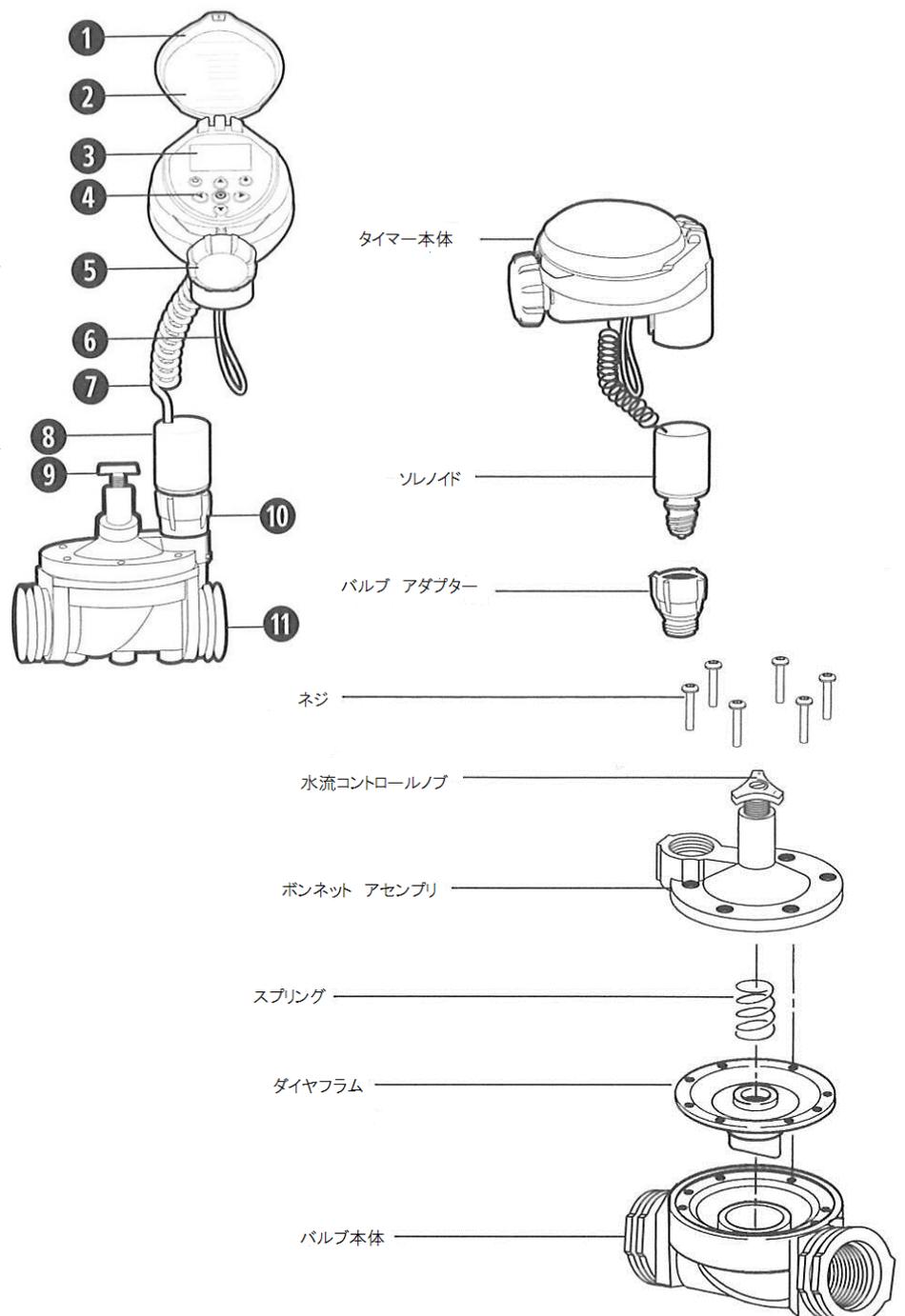
散水時間は1分間～5時間59分間、1日に1～4回までスタート時刻を設定できます。

水圧適用範囲は0.07～0.87Mpa (0.7～8.7kg/cm²)、散水の流量は0.4～105.8ℓ/分です。

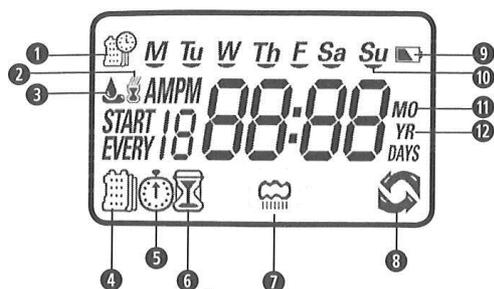
オプションでT-006ウォータリングタイマー用レインセンサーの取り付けが可能です。

2, 部品名称

- ①タイマーカバー
- ②ボタン早見表 (英語)
- ③液晶ディスプレイ
- ④プログラミングキーパッド
- ⑤電池カバー
- ⑥レインセンサー接続ワイヤー
- ⑦カールコード
- ⑧ソレノイド
- ⑨水流コントロールノブ
- ⑩ソレノイドバルブアダプター
- ⑪3/4雌ネジ



3, 液晶ディスプレイ



- ①時刻アイコン : 現在時刻と曜日を設定する時、プログラム設定後の待機時に表示します。
- ②センサーアイコン : レインセンサーが作動している時 (雨を感知している時)、
あるいはP 2の2部品名称⑥レインセンサー接続ワイヤー (黄色) を
カットしている時に表示します。
※センサーアイコンを表示している時は散水しません。
- ③ウォータリングアイコン : バルブが開いている時 (散水している時) に表示します。
- ④散水日アイコン : 曜日、偶数日、奇数日、日にち間隔 (1 ~ 30日毎) のいずれかを
設定する時に表示します。
- ⑤スタート時刻アイコン : 散水を開始する時刻 (1日1 ~ 4回まで) を設定する時に表示します。
- ⑥散水時間アイコン : 散水時間 (1分 ~ 5時間59分まで) を設定する時に表示します。
- ⑦一定期間散水OFFアイコン : 一定期間 (1 ~ 99日間) 散水を止める設定をする時に表示します。
※一定期間散水OFFアイコンを表示している時は散水しません。
- ⑧手動アイコン : 手動で散水する時に表示します。
- ⑨バッテリーレベルアイコン : 電池の残量が少なく、取り換える必要がある時に表示します。
- ⑩散水曜日アイコン : 散水する曜日を設定した場合、散水する曜日の下に表示します。
- ⑪月を設定するアイコン : (現在時刻を設定する時) 現在の月を設定する時に表示します。
- ⑫年を設定するアイコン : (現在時刻を設定する時) 西暦の年を設定する時に表示します。

4, 電池の入れ方

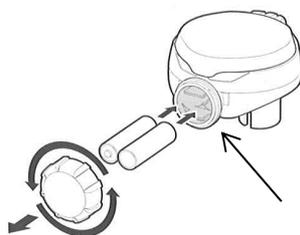
1. 反時計回りに電池カバーを回して、左下の図の矢印の方向に開けて下さい。
2. タイマー本体底部の電池のイラスト「+」に合わせて単3形アルカリ乾電池を2本入れて下さい。
3. 時計回りに蓋を閉めて下さい。(工具を使わずに、手で固くしっかり電池カバーを締めて下さい。)

※正しく電池を入れると、液晶ディスプレイに時刻設定画面が表示されます。

※故障ではなく、配送時の衝撃等で電磁弁が開いている場合があります。電池を入れた後に手動散水と散水停止の操作をして下さい。(P 9の7, 手動散水を参照)

※電池部分から湿気が入ると故障の原因になります。電池カバーはしっかりと締めて下さい。

※3年を目安に電池交換して下さい。電池交換の際には2分間程度、設定プログラムをメモリーします。



5, コントロールボタン

- ①  電源ボタン
- ②  手動ボタン
- ③  モードボタン
- ④  上下選択ボタン
- ⑤  左右選択ボタン



6, プログラミング

①現在の日付と時刻の設定

1. 電池を入れると  ①時刻アイコンが現れ、「時」が点滅します。

 上下選択ボタンで現在の「時」に合わせます。

2.  ボタンを押すと、「分」が点滅します。

 上下選択ボタンで現在の「分」に合わせます。

3.  ボタンを押すと、**MO**が表示され、「月」が点滅します。

 上下選択ボタンで現在の「月」に合わせます。

4.  ボタンを押すと、**DAY**が表示され、「日」が点滅します。

 上下選択ボタンで現在の「日」に合わせます。

5.  ボタンを押すと、**YR**が表示され、「年」が点滅します。

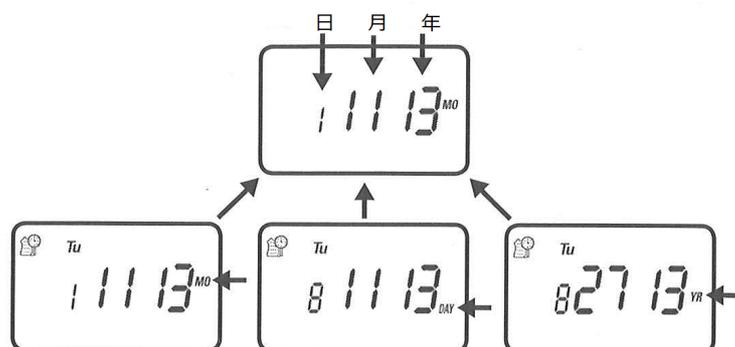
 上下選択ボタンで現在の「年」に合わせます。

6. 現在時刻を設定したら、 モードボタンを押します。(散水日の設定画面へ移ります。)

※現在時刻を変更したい場合は  ①時刻アイコンが現れるまで  モードボタンを押して下さい。

 ①時刻アイコンが現れたら  ボタンを押し、1～6を繰り返して下さい。

※点滅箇所が変更できる値です。



②散水日の設定

下記ア・イ・ウのいずれかを設定します。

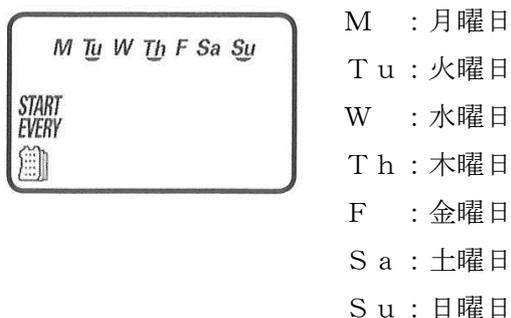
- ア：曜日指定
- イ：偶数日もしくは奇数日指定
- ウ：日にち（1～30日毎）の間隔指定

ア：曜日指定

1. 液晶画面の右下に  ④散水日アイコンと下の図のような曜日を示す画面が表示されていることを確認して下さい。
表示されない場合は、液晶画面の左下に  ④散水日アイコンが出るまで
 モードボタンを押して下さい。
④散水日アイコンが表示されたら、下の図のような曜日の設定画面が表示されるまで
 ボタンを押して下さい。

全ての曜日にアンダーラインが付いています。

このアンダーラインが散水をする曜日を示します。



2. 散水しない曜日を   ボタンで選択し（選択中の曜日が点滅）、
 ボタンを押してアンダーラインを解除します。
誤って解除してしまった場合は  ボタンを押すとアンダーラインが表示されます。
設定が終わったら  モードボタンを押して下さい。
（③散水スタート時刻の設定画面へ移ります。）

※イもしくはウの設定を選択する場合は、全てのアンダーラインを解除して下さい。

次に  ボタンを押すとイ、ウの設定画面へ移ります。

-  ボタン1回：イの偶数日もしくは奇数日指定画面へ移動します。
-  ボタン3回：ウの日にち間隔指定（1～30日毎）へ移動します。

アの設定画面へ戻りたい場合は  ボタンを押して下さい。

※ボタン2回の表示画面は設定不可の為、使用しないで下さい。

イ：偶数日もしくは奇数日指定

1. 液晶画面に下の図が表示され、「EVEN」が点滅していることを確認して下さい。※1
2.   上下選択ボタンで、EVEN・ODDのどちらかを選択し、
 モードボタンを押してください。
(③散水スタート時刻の設定画面へ移ります。)

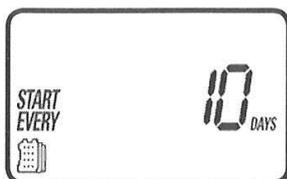


EVEN：偶数日

ODD：奇数日

ウ：日にち（1～30日毎に1回）の間隔指定

1. 液晶画面に下の図のような日にち（DAY）を示す画面が表示され、
1DAYの「1」が点滅していることを確認して下さい。※1
2.   上下選択ボタンで、1～30を選択し、 モードボタンを押してください。
(③散水スタート時刻の設定画面へ移ります。)



※1：表示されない場合は、液晶画面の左下に  散水日アイコンが表示されるまで

 モードボタンを押して下さい。

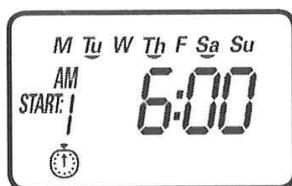
散水日アイコンが表示されたら、ア・イ・ウの設定画面が表示されるまで

 ボタンを押して下さい。

③散水スタート時刻の設定

1日最大4回まで散水スタート時刻を設定することができます。

1. 液晶画面の左下に  ⑤スタート時刻アイコンと下の図のようなスタート時刻を示す画面が表示されていることを確認して下さい。表示されない場合は、 ⑤スタート時刻アイコンが表示されるまで、 モードボタンを押して下さい。



START 1 1回目のスタート開始時刻

START 2 2回目のスタート開始時刻

START 3 3回目のスタート開始時刻

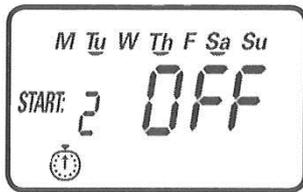
START 4 4回目のスタート開始時刻

2. 「START1」 1回目のスタート時刻を設定します。

- ボタンを押すと、「時」が点滅します。●● 上下選択ボタンで「時」を設定します。
- ボタンを押すと、「分」が点滅します。●● 上下選択ボタンで「分」を設定します。

3. 「START2~4」 2~4回目のスタート時刻を設定します。

- ボタンを押すと、「START 2」が表示され、「OFF」が点滅します。
 - 上下選択ボタンのどちらかを押し、2の操作と同様に2回目のスタート時刻を設定します。
- 3~4回目のスタート時刻も● ボタンを押すと、「START 3」「START 4」が表示されるので、2回目のスタート時刻の設定と同様に設定します。
- 2~4回目を設定しない場合は「OFF」のままにしておいてください。
- ※「OFF」は「PM11:00」と「AM12:00」の間にあります。

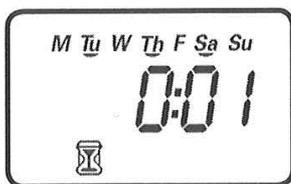


4. 設定が終わりましたら、●● モードボタンを押して下さい。(④散水時間の設定画面へ移ります。)

④散水時間の設定

散水時間（お水をまく時間）の長さ（0分~最大5時間59分）を設定します。

1. 液晶画面の左下に●●散水時間アイコンと下の図のような画面が表示されていることを確認して下さい。表示されない場合は、●●散水時間アイコンが表示されるまで、●●モードボタンを押して下さい。



2. ●● ボタンを押すと、「時」が点滅します。●● 上下選択ボタンで「時」を設定します。
- ボタンを押すと、「分」が点滅します。●● 上下選択ボタンで「分」を設定します。
- ※0分~最大5時間59分（0:00~5:59）まで設定可能です。
- ※0分（0:00）の場合は、散水されません。

3. 設定が終わりましたら、●●モードボタンを2回押して下さい。
(現在時刻の画面へ移り、設定完了です。)

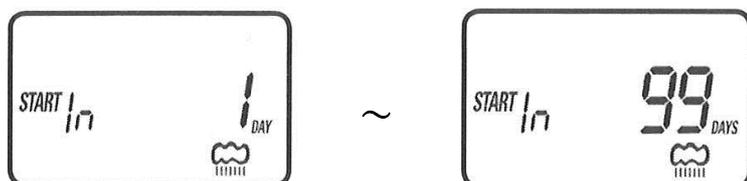
⑤一定期間散水OFFの設定

一定期間（1～99日間）散水を止めることができます。

1. 下の図のような液晶画面の右下に  一定期間散水OFFアイコンが表示されるまで、
 モードボタンを押して下さい。
(現在時刻が表示されている状態から設定する場合は、 モードボタンを4回押して下さい。)



2.  ボタンを押すと、「OFF」が点滅します。
 上下選択ボタンで散水を止める期間（1～99日間）を設定します。



3. 設定が終わりましたら、 モードボタンを押して下さい。現在時刻の画面へ移ります。

※一定期間散水OFFの設定中は現在時刻の液晶画面の下に

 一定期間散水OFFアイコンが表示されます。

※一定期間散水OFFの設定を解除する場合は、「OFF」（1と99の間）に設定して下さい。

<ポイントアドバイス>

1. 散水する日は、待機時の現在時刻画面の曜日を表すアイコンが点滅します。
2. 自動散水を散水途中で緊急停止したい場合は、 手動ボタンを押して下さい。散水が止まります。
 電源ボタンでも散水は止まりますが、 電源ボタンで止めた場合はタイマーが「OFF」になります。タイマーを「ON」（自動散水を再開）にする場合はもう一度  電源ボタンを押して下さい。
電源が入り、液晶画面に現在時刻が表示されます。

7, 手動散水

手動で散水（お水をまく）することができます。

1.  手動ボタンを押すと下の図のような画面と  ③散水アイコンが表示され、散水が始まります。
2. もう一度  手動ボタンを押すと散水が止まります。

止めずにそのままにしておくと、6プログラミングの④散水時間で設定した時間散水し、自動で止まります。

※設定した時間を   上下選択ボタンで変更することも可能です。「時」は変更できません。

※④散水時間を予め、設定しておいてください。



8, 電源OFF

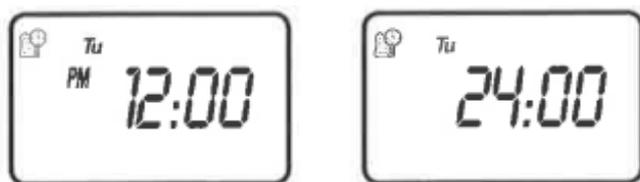
タイマーの電源をOFFにすることができます。

1.  電源ボタンを押して下さい。電源がOFFになり、液晶画面に「OFF」と表示されます。タイマーをONにするには、もう一度  電源ボタンを押して下さい。電源が入り、液晶画面に現在時刻が表示されます。※タイマーがOFFの状態でも、設定内容を変更することができます。

9, AM/PM12時間表示・24時間表示の選択

AM/PM12時間表示もしくは24時間表示を選択することが出来ます。

1. 液晶画面に、待機時の  ①時刻アイコンと現在時刻が表示されていることを確認して下さい。表示されていない場合は  ①時刻アイコンが表示されるまで  モードボタンを押して下さい。
2.  ボタンをAM/PMが消えるまで長押しして下さい。（初期設定はAM/PM12時間表示です。）※もう一度長押しすると元に戻ります。



10, T-006 ウォータリングタイマー用レインセンサー

レインセンサーは降雨時に自動的に雨を感知して、タイマーの自動散水を停止します。雨の有無を感知するまでに、一定の時間を要する仕様になっております。

雨感知の仕組みはセンサーキャッチ内部にある驗湿版コルクの吸湿、乾燥具合により、雨量を感知する仕様になっております。そのため、自動散水開始の直前や最中に雨が降り始めた場合は『雨が降っているのに散水をしている』事や、逆に『晴れているのに散水されない』という事が起こり得ます。故障ではなく仕様としてご理解を頂き、ご了承下さいませようお願い申し上げます。

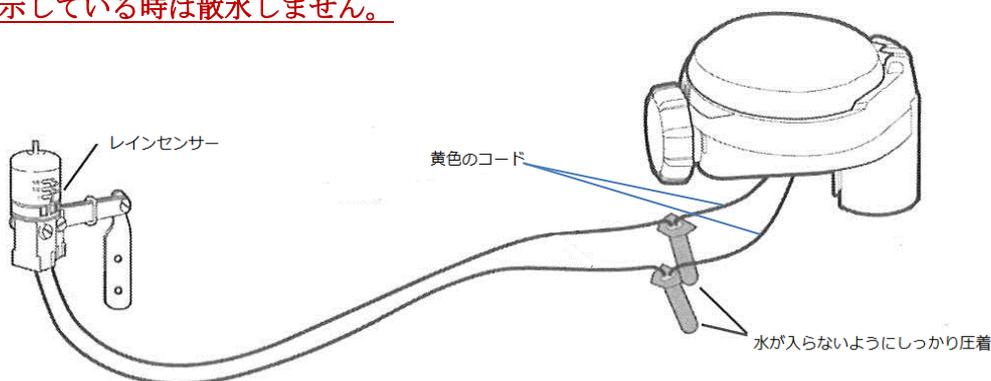
①取付方法

1. P2の2, 部品名称の⑥レインセンサー接続ワイヤー（黄色）をカッター等で中心部分を切断し、被覆を剥がします。液晶画面に②センサーアイコンが表示されます。
2. レインセンサーの白いコードの中に、赤と黒のコードが入っているので、まず白いコードの被覆を剥がし、次に赤と黒の被覆を剥がします。
3. 1と2のコードを下図のようにそれぞれ圧着します。この時、水が中に入らないようにしっかり圧着して下さい。

約10秒後に②センサーアイコンが消えます。接続が悪いと消えません。

※②センサーアイコンはレインセンサーが作動している時（雨を感知している時）、あるいは⑥レインセンサー接続ワイヤー（黄色）をカットしている時に表示します。

表示している時は散水しません。



②感知雨量の設定

レインセンサーは自動散水を中止させる感知雨量を4段階（3mm, 6mm, 13mm, 19mm）で調節できます。センサーキャップを回転させ、希望する降雨量の位置に設定します。強くひねるとピンが壊れるのでご注意ください。

センサーが作動して、散水を中止した後の復旧時間は天候状況で変化します。センサーキャップ下の換気孔のリングを回して、開き具合を調整すると乾燥までの復旧時間が調整できます。

②設置場所

日当たりや風通しの良い場所に設置して下さい。7.5mの延長コードが付いています。

【以下の場所には設置しないで下さい。】

- ・屋根や軒下で、雨の当たらない場所はセンサーが作動しません。
- ・子供や動物が触れる高さの場所は、センサーの作動を定期的にご確認下さい。
- ・雨以外の水分（散水の水や家庭排水など）が掛かる場所は、誤作動を起こします。

1 1, 注意事項

- ・凍結の恐れがある時期は、必ず水栓から取り外し、タイマー内の水を抜いて室内にて保管して下さい。そのままにしておくと、タイマー内の水が凍り、体積が膨張して電磁弁が破損し、水が止まらなくなってしまうです。(タイマー内の水を抜く方法はP 9の7, 手動散水の手順を参照下さい。)
- ・タイマー周りの接続部品のねじ部分は、気温の影響による膨張圧縮等で緩む恐れがある為、定期的に確認し、緩んでいる場合は締め直して下さい。
- ・タイマーの設置時、バルブ本体の側面に水の流れる方向を矢印で示しているなので、よく確認して下さい。誤って逆方向に設置し、逆流させると故障の原因になります。
- ・タイマーの乾電池(単3形アルカリ電池2本)は3年に1度は必ず交換して下さい。電池切れによる停止や誤作動などの原因で、使用製品以外に深刻な損害の出る事があります。必ず日常点検を行い、電池切れや誤作動がないか確認して下さい。
- ・コントロールボタンを15分程押さない状態が続くと、自動的に節電モードに切り替わり、液晶が消えます。どれかのコントロールボタンを押すと、節電モードが解除されます。
- ・タイマーとジョイントを接続する際は、ねじ部分に必ずシールテープを巻いて下さい。水漏れの原因になります。
- ・ソレノイド、ソレノイドバルブアダプターから水漏れ、またはタイマーの散水が止まらない場合は、ねじが緩んでいるか確認し、緩んでいたら時計回りに締め直して下さい。水漏れが直らない場合は、ソレノイドを取り外し、ねじ部分に付属のシールテープを巻いて下さい。



- ・故障ではなく、配送時の衝撃等で電磁弁が開いている場合があります。電池を入れた後に手動散水と散水停止の操作をして下さい。
- ・電磁弁が配管内の異物により、つまる場合があります。定期的に通水して下さい。
- ・本製品は水道水による散水以外には使用しないでください。井戸水・雨水・中水等の水の場合は、十分にろ過を行ってから使用して下さい。ろ過が不十分の場合には機器に不具合や誤作動が生じる事があります。
- ・本製品は自動散水制御専用の機器です。違う目的に使用したり、分解・改造をしないでください。故障の原因になります。
- ・散水機を使用しての薬剤散布は行わないで下さい。
- ・金網メッシュ(フィルター)、本体の汚れは必要に応じて水で洗浄して下さい。溶剤、薬品は使用しないで下さい。
- ・レインセンサーは当社指定のT-006ウォータリングタイマー用レインセンサーをご使用下さい。
- ・本製品に適した範囲の水圧0.07~0.87Mpa(0.7~8.7kg/cm²)でご使用下さい。水圧が基準範囲外の場合、散水が機能しなかったり、機器が破損する恐れがあります。水圧が高い場合は給水側に市販の減圧弁をご使用下さい。
- ・機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いか、散水箇所の植栽等に大きな変化は無いか必ず日常点検を実施して下さい。
- ・自動散水システムは散水を補助するものです。使用中に植物等に被害が生じて、当社は責任を負いかねますので、予めご了承頂きます様お願い申し上げます。
- ・本製品の製品保証につきましては、製品出荷時に添付してある保証書をご参照下さい。

12, よくあるQ&A

ご使用中に異常がみられた時は下記の項目をご確認下さい。

症状	原因	解決方法	参考ページ
画面が表示されない	電池の入れる方向が合っていない	電池の向きを確認し、入れ替えて下さい。	3
	電池切れ	電池を交換して下さい。	3
	節電モード	どれかのコントロールボタンを押して下さい。	1 1
	回路の一時ショート (フリーズ)	電池を抜き、1時間程度経ってから電池を入れ直して下さい。	3
画面が正しく表示しない	電池の接触不良	電池を抜き、10分程度経ってから電池を入れ直して下さい。	3
時間通りに散水されない	水栓が閉まっている	水栓(蛇口)を開けて下さい。	—
	ホースが抜けている	ホースを正しく接続し直して下さい。	—
	ホースが切れている	交換または補修を行ってください。	—
	電磁弁内部のゴム同志に不具合が生じる	定期的(週に1度程度)に通水して下さい。	1 1
	レインセンサー作動	レインセンサーが作動中です。	1 0
	電池切れ	電池を交換して下さい。	3
	マンガン電池の使用	アルカリ電池に変えて下さい。	3
	タイマーの電源が入っていない	電源を入れて下さい。	9
	タイマーの設置向きが逆になっている	バルブ本体の側面にある矢印の方向を確認し、設置し直して下さい。	1 1
	一定期間散水OFFの設定になっている	設定を解除して下さい。	8
設定が正しくない	正しく設定して下さい。	4	
水が止まらない	凍結による電磁弁破損	タイマーを交換して下さい。	1 1
	水圧が適用範囲を超えている	本製品に適した範囲の水圧でご使用下さい。	1 1
	ソレノイド、ソレノイドバルブアダプターが緩んでいる	ソレノイド、ソレノイドバルブアダプターを時計回りに締め直して下さい。	1 1
	配送時の電磁弁解放 (初回のみ)	配送時の衝撃等で電磁弁が開いている場合があります。手で止めて下さい。	9
	設定が正しくない	正しく設定して下さい。	4
レインセンサーが作動しない	接続ミス	線が正しく接続されているか確認して下さい。	1 0
	レインセンサーの設定降雨量が多い	降雨量設定を変更して下さい。	1 0

※上記以外の症状が見られた場合は当社までお問い合わせ下さい。